３．様式集（東北地方整備局）

掲載 URL（東北地方整備局ホームページ）

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00910/kyoutuu/h19siyousho.htm

様式集目次（東北地方整備局）

様式－東(１)　技術者詳細経歴書…… 99
様式－東(２)－１　工事出来高報告書（既済部分検査用）…… 100
様式－東(２)－２　内訳書 …… 101
様式－東(２)－３　記入例 …… 102
様式－東(３)　出来形寸法管理図表（表紙）…… 103
様式－東(４)　出来形管理図表（図表）…… 104
様式－東(５)－１　測定結果表 …… 105
様式－東(５)－２　出来形測定結果記入例（現場打擁壁工）…… 106
様式－東(５)－３　出来形測定結果記入例（現場打Ｕ型水路工）…… 108
様式－東(５)－４　出来形測定結果記入例（矢板工）…… 110
様式－東(６)　品質管理図表（表紙）…… 111
様式－東(７)　品質管理・公式・係数・記号表 …… 112
様式－東(８)　度数表 …… 113
様式－東(９)　工程能力図 …… 114
様式－東(10)　工事アルバム …… 115
様式－東(11)　除雪機械に関する指示票 …… 116
様式－東(12)　除雪機械の修理整備等に関する協議書 …… 117
様式－東(13)　除雪機械の修理整備等に関する報告書 …… 118
様式－東(14)－１　連絡先一覧表 …… 119
様式－東(14)－２　連絡先一覧表 …… 120
様式－東(15)　コンクリートの単位水量試験結果一覧表 …… 121
様式－東(16)　モルタル及びコンクリート圧縮強度試験 …… 122
様式－東(17)－１　創意工夫等実施状況 …… 123
様式－東(17)－２　創意工夫等実施状況（説明資料）…… 124
様式－東(18)－１　VE提案書　様式－１ …… 125
様式－東(18)－２　VE提案書　様式－２ …… 126
様式－東(18)－３　VE提案書　様式－３ …… 127
様式－東(18)－４　VE提案書　様式－４ …… 128
様式－東(18)－５　VE提案書　様式－５ …… 129

様式－100（東北地方整備局版）総括表（1） …… 130
様式－101（東北地方整備局版）総括表（2） …… 131
様式－102（東北地方整備局版）生コンクリート品質記録表 …… 132
様式－103（東北地方整備局版）コンクリート二次製品の品質記録表
(1) 配合 …… 133
様式－104（東北地方整備局版） (2) 材料特性 ①セメント …… 134
様式－105の１（東北地方整備局版）(2) 材料特性 ②骨材 …… 135
様式－105の２（東北地方整備局版）(2) 材料特性 ②骨材 …… 136
様式－106の１（東北地方整備局版）(2) 材料特性 ③混和材料 …… 137
様式－106の２（東北地方整備局版）(2) 材料特性 ③混和材料 …… 138
様式－107（東北地方整備局版） (3) コンクリートの品質試験結果 … 139
様式－108（東北地方整備局版） (3) コンクリート二次製品の品質 … 140
様式－109（東北地方整備局版） (4) 打設関係 …… 141
（参考）様式 支給品調書 …… 142
（参考）様式 貸与品調書 …… 143
（参考）様式 （防護柵）施工確認書 …… 144

様式－東（1）

技術者詳細経歴書

氏　名　　㊞

項　目	内　容
契約年度	平成　年度
工事名	工事
工期	自：平成　年　月　日～至：平成　年　月　日
発注機関（者）	
所属会社	
元請・下請の別	
担当職務名	

項　目	内　容
契約年度	平成　年度
工事名	工事
工期	自：平成　年　月　日～至：平成　年　月　日
発注機関（者）	
所属会社	
元請・下請の別	
担当職務名	

注意事項　1）現場代理人，主任技術者，監理技術者についてそれぞれ別様にして「経歴書」の次の頁に添付するものとする。

2）過去2年間についての公共及び民間工事すべてについて記載するものとする。

3）欄及び頁が足りない場合は適宜追加するものとする。

4）「担当職務名」には例えば，「現場代理人」「監理技術者」「主任技術者」「安全巡視員」「施工監理担当」等を記入する。

（A4版）

様式－東（2）－1

工事名

平成　年　月　日　工事出来高報告書
（既済部分検査用）

主任監督員		監督員		現場代理人	

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	契約高 数量①	監督職員指示での変更数量	計 数量	出来高 数量②	出来高 進捗率 ③=②/①×100	工事費構成書の比率④	出来高率 ⑤=③×④	摘要

様式－東（2）－2

第　　号　　内訳書

名　　称	規　　格	単位	契約高数量又は応札計数量	監督職員の指示による数量	設計数量	出来高		内訳書における構成比率	工事出来高報告書における進捗率(%)	摘　　要
						数　量	進捗率			
							%		%	

注：1．内訳書における構成比率は，内訳書の各名称毎の金額比率から算出し，少数3桁目以下は切捨てる。
　　2．「工事出来高報告書における進捗率」は，構成比率に出来高進捗率を乗じ，小数2桁目以下は切捨てる。

（A4版）

記入例

様式－東（2）－3

工事名

工事出来高報告書

平成　年　月　日　（既済部分検査用）

主任監督員		監督員		現場代理人	

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	工事数量 ①	監督職員指示での変更数量	計数量	出来高 数量 ②	出来高 進捗率 ③=②/①×100	工事費構成書の比率 ④	出来高率 ⑤=③×④	摘要
道路改良					式	1		1			70	39	
	道路土工				式	1		1			23		
		掘削工			式	1		1			2.9		
			土砂掘削		㎥	1,500		1,500	1,500	100	1.5	1.5	
			軟岩掘削		㎥	600		600	600	100	1.4	1.4	
		路体盛土工			式	1		1			15		
			発生土路体		㎥	2,000		2,000	2,000	100	2.2	2.2	
			購入土路体		㎥	8,000		8,000	6,000	75	13	9.7	
		路床盛土工			式	1		1			5.1		
			購入土路床		㎥	1,300		1,300			5.1		
		法面整形工			式	1		1			0.12		
			法面整形	【土砂】盛土部	㎡	900		900			0.12		
	法面工				式	1		1			0.11		
		植生工			式	1		1			0.11		
			種子吹付	【肥料養生材有】	㎡	900		900			0.11		
	擁壁工				式	1		1			20		
		作業土工			式	1		1	1	100	0.022	0.022	
		既製杭工		L＝5m	式	1		1			0.53		
			既製コンクリート杭	pc径300	本	30		30	30	100	0.53	0.53	
		現場打擁壁工			式	1		1			13		
		【第1号】	基礎材	cr40mm	㎥	60		60	60	100	1.0	1.0	
			均しコンクリート	①厚30cm	㎡	55		55	55	100	1.5	1.5	
			コンクリート	⑧	㎥	80		80	80	100	7.9	7.9	
			鉄筋	SD295A	t	10		10	10	100	2.5	2.5	
			型枠		式	1		1	1	100	0.055	0.055	
			足場		式	1		1	1	100	0.048	0.048	
			目地材		㎡	20		20	20	100	0.002	0.002	
		現場打擁壁工			式	1		1			6.5		
		【第2号】	基礎材	cr40mm	㎥	30		30	30	100	0.53	0.53	
			均しコンクリート	①厚30cm	㎡	27		27	27	100	0.41	0.41	
			コンクリート	⑧	㎥	40		40	40	100	4.2	4.2	
			鉄筋	SD295A	t	5		5	5	100	1.3	1.3	
			型枠		式	1		1	1	100	0.033	0.033	
			足場		式	1		1	1	100	0.025	0.025	
			目地材		㎡	10		10	10	100	0.001	0.001	
	カルバート工				式	1		1			27		
		作業土工			式	1		1	1	50	0.053	0.026	
		現場カルバート工			式	1		1			27		
			基礎材	cr40mm	㎥	150		150	150	100	1.1	1.1	
			均しコンクリート	①厚30cm	㎡	120		120	120	100	3.8	3.8	
			コンクリート	⑧	㎥	170		170			15		
			鉄筋	SD295A	t	60		60			5.1		
			型枠		式	1		1			1.3		
			足場		式	1		1			0.54		
			支保		式	1		1			0.53		
			目地材		㎡	30		30			0.005		
共通仮設					式	1		1	1		10		
	共通仮設費	（率計上）			式	1		1	1	55.7	10	5.5	
純工事費					式	1		1	1		10		
	現場管理費				式	1		1	1	55.7	10	5.5	
工事原価					式	1		1	1		10		
	一般管理費				式	1		1	1	55.7	10	5.5	
工事価格											100	55.5	

注：1．出来高率（%）は，有効数字二桁とする（三桁以下切捨）但し0.00の場合コンマ以下三位止め（四位切捨）
2．出来高率（%）の合計欄は少数一位止め（二位切捨て）
3．請負者は太枠内のみ記入するものとする。　4．必要に応じて内訳書を添付できる。（材料購入のみ等の場合）
5．中間前払いに用いる場合は，既済部分検査用の表示を消して使用するものとする。

（A4版）

様式－東（３）出来高寸法管理図表（表紙）

平成　　年度　　工事

工出来形管理図表

中間技術検査

月日	回	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					

既済部分検査

月日	回	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					
	第　回					

完成検査

月日	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞

事務所名　　出張所名　　請負者

監督官

注　１．出来形管理図表は，本表紙様式により，工種ごとに綴るものとする。ただし，小規模工事については，主任監督員の承認を得て，全工種を一括綴りとすることができる。
２．工種は，掘削工，盛土工，下層路盤工，現場打U型水路工，コンクリート舗装工，吹付工等とし，細目は，基準高，幅，厚，３m平坦性等と記入する。
３．経過には，検査の都度，回，月，日，検査官名を記入して検査官に提示し，その押印を受けるものとする。

（A4版）

様式－東（4）出来高管理図表（図表）

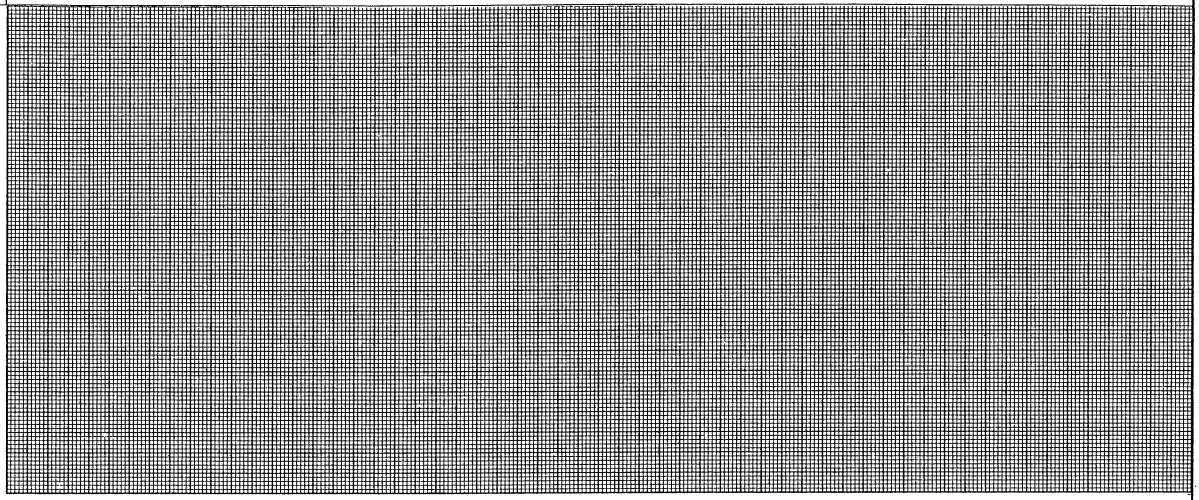
平成　　年度

工事　　工　　管理図表

請負者
現場代理人　　㊞

工事事務所　　出張所
監督官

測定者　　㊞

番　号	
月　日	
（単位　）	
記　事	

注　1．工種名は，盛土工，下層路盤工，現場打U型水路工，吹付工等と記入する。
2．標題は，厚管理図表，基準高管理図表と記入する。
3．番号はあらかじめ側点を定め，起点から終点に向って順序に記入しておく。
4．月日は，測定の際，該当測量番号にあたるものを記入する。
5．設計値と実測値の単位を定め，目盛に数値を記入する。
6．図表には現場値の線を朱書で記入する。
7．記事は，手直の処置等を記入承諾印を押す。

（A4版）

測　定　結　果　表

工　種
細　別

請　負　者
現場代理人

測　定　者

単位：mm

測定項目													略　　図
規　格　値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	

注）基準高については，設計図書において表示されているものについて記入する

（A4版）

様式－東（5）－2

1）出来形測定結果記入例（現場打擁壁工）（1－1）

工事名

工　種　擁壁工

種　別　現場打擁壁工

請負者

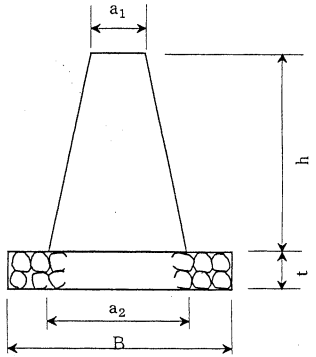
現場代理人

測定者　　印

単位：mm

測定項目	基準高			a_1			a_2			h		
規格値	±50			−30			−30			h＜3m−50 h≧3m−100		
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No. 9	17,800	17,810	+10	300	310	+10	1,420	1,425	＋5	2,800	2,810	+10
No. 11	17,900	17,903	＋3	300	307	＋7	1,420	1,403	−17	2,800	2,795	−5
No. 16	21,750	21,745	−5	300	300	0	1,420	1,397	−23	2,800	2,806	＋6
No. 18	21,800	21,800	0	300	301	＋1	1,420	1,410	−10	2,800	2,803	＋3
No. 20				400	398	−2	1,900	1,908	＋8	4,000	4,007	＋7
No. 22				400	405	＋5	1,900	1,891	−9	4,000	3,990	−10
測定項目												
規格値												
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差

略図



注）基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する

（A4版）

1）出来形測定結果記入例(現場打擁壁工)（1－2）

測定結果一覧表

工事名

工　手　擁壁工

種　別　現場打擁壁工

請負者

現場代理人

測定者　　印

単位:mm

測定項目	B			t			a_2			a_3			略図
規格値	設計値以上			設計値以上			-20			-30			
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
No. 9	1,620	1,630	+10	200	200	0							
No. 11	1,620	1,625	+5	200	210	+10							
No. 16	1,620	1,620	0	200	220	+20							
No. 18	1,620	1,635	+15	200	215	+15							
No. 20	2,100	2,105	+5	200	200	0							
No. 22	2,100	2,100	0	200	205	+5							
測定項目													
規格値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	

注)基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する

(A4版)

様式－東（5）－3

2）出来形測定結果記入例（現場打U型水路工）（2－1）

工事名

工　手　小型水路工

種　別　現場打水路工

請 負 者

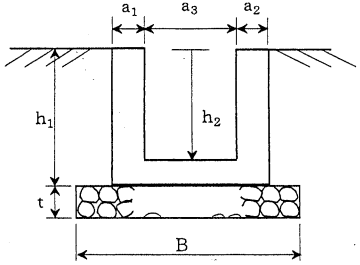
現場代理人

測 定 者　　印

単位：mm

測定項目	基準高			a_1			a_2			a_3		
規 格 値	±30			−20			−20			-30		
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
No. 7	23,000	23,001	＋1	150	152	＋2	200	201	＋1	500	506	＋6
No. 9	23,500	23,511	＋11	150	158	＋8	200	204	＋4	500	501	＋1
No. 11	24,000	23,995	－5	150	154	＋4	200	207	＋7	500	500	0
No. 13	24,500	24,484	−16	150	153	＋3	200	207	＋7	500	507	＋7
No. 15	25,000	25,012	＋12	150	153	＋3	200	209	＋9	500	510	＋10
No. 17	25,500	25,504	＋4	150	151	＋1	200	200	0	500	515	＋15
No. 22				120	119	－1	200	205	＋5	300	304	＋4
No. 24				120	120	0	200	201	＋1	300	308	＋8
No. 26				120	120	0	200	199	－1	300	301	＋1
測定項目												
規 格 値												
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差

略　　図



注）基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する

（A4 版）

2）出来形測定結果記入例（現場打U型水路工）（2－2）

測定結果一覧表

工事名

工　手　小型水路工

種　別　現場打水路工

請負者

現場代理人

測定者　印

単位：mm

測定項目	h_1			h_2			B			t			略図
規格値	-30			-30			設計値以上			設計値以上			
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
No. 7	600	609	＋9	500	499	－1	1,050	1,100	＋50	150	157	＋7	
No. 9	600	610	＋10	500	490	－10	1,050	1,080	＋30	150	150	0	
No. 11	600	599	－1	500	500	0	1,050	1,090	＋40	150	160	＋10	
No. 13	600	600	0	500	511	＋11	1,050	1,060	＋10	150	155	＋5	
No. 15	600	615	＋15	500	510	＋10	1,050	1,050	0	150	150	0	
No. 17	600	610	＋10	500	505	＋5	1,050	1,060	＋10	150	155	＋5	
No. 22	500	510	＋10	400	393	－7	820	900	＋80	150	158	＋8	
No. 24	500	508	＋8	400	389	－11	820	902	＋82	150	160	＋10	
No. 26	500	509	＋9	400	403	＋3	820	880	＋60	150	163	＋13	
測定項目													
規格値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	

注）基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する

（A4版）

様式－東（5）－4

4）出来形測定結果記入例(矢 板 工)

工事名

工　手　　護岸基礎工

種　別　　鋼 矢 板

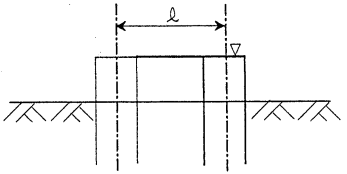
請 負 者

現場代理人

測 定 者　　印

単位:mm

測定項目	基準高			ℓ			根入長						略　図
規 格 値	±50			100			設計値以上						
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
No. 1	35,200	35,210	+10			25	3,000	3,010	10				
No. 2						60	3,000	3,015	15				
No. 3	35,300	35,330	+30			50	3,000	3,020	20				
No. 4						70	3,000	3,010	10				
No. 5	35,400	35,410	+10			60	3,000	3,020	20				
No. 6						40	3,000	3,015	15				
No. 7	35,500	35,495	− 5			25	3,000	3,010	10				
測定項目													
規 格 値													
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	



注)1.基準高については、設計図書において表示されているものについて記入する
2.矢板の変位は、法線に対する矢板のジョイントの中心の差で表示する。

(A4 版)

様式－東（6）品質管理図表（表紙）

平成　　年度　　工事

工品質管理図表

中間技術検査

月日	回	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					

既済部分検査

月日	回	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					
	第　回					

完成検査

月日	検査官名㊞	記事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名㊞

事務所名＿＿＿＿＿＿　出張所名＿＿＿＿＿＿　請負者＿＿＿＿＿＿

監督官＿＿＿＿＿＿

注　1．品質管理図表は，本表紙様式により，工種，種目別に綴るものとする。ただし，小規模な工事にあっては，主任監督員の承認を得て，全工種を一括して綴ることができるものとする。

2．工種は，セメント・コンクリート，道路土工，下層路盤，セメント安定処理路盤，アスファルト舗装等とし，細目はスランプ，空気量，圧縮強度，曲げ強度，含水量，支持力，締固め密度等と記入する。

3．経過には，検査の都度，回，月，日，検査官名を記入し，検査官に提示して，その押印を受けるものとする。

（A4版）

様式－東（7）

品質管理・公式・係数・記号表

公式

$X-Rs-Rm$ 管 理 図

	x 管理図	Rs 管理図	Rm 管理図
C.L.	$\bar{\bar{x}}$	$\bar{Rs}$	$\bar{Rm}$
U.C.L.	$\bar{\bar{x}}+E_2\bar{Rs}$	$D_4\bar{Rs}$	$D_4\bar{Rm}$
L.C.L.	$\bar{\bar{x}}-E_2\bar{Rs}$	－	$D_3\bar{Rm}$

$x-Rs-Rm$ 管理の管理限界は 3σ を原則とする。

係数

n	A_2	D_4	d_2	E_2
2	1.88	3.27	1.13	2.66
3	1.02	2.57	1.69	1.77
4	0.73	2.28	2.06	1.46
5	0.58	2.11	2.33	1.29

記号

x ：測 定 値
$a,b,$ ：測定値をきめるための箇々の測定値
$\bar{x}$ ：$\Sigma x/n=$（1組の測定値の和）/（試料の大きさ）
$\bar{\bar{x}}$ ：$\Sigma\bar{x}/k=$（$\bar{x}$ の和）/（組の数）
R ：範囲＝（x の最大値）－（x の最小値）
$\bar{R}$ ：$\Sigma R/K=$（Rの和）/（組の数）
$\bar{Rs}$ ：$\Sigma Rs/(K-1)=$（Rsの和）/{（x の数）$K-1$}
Rs ：移動範囲（互いに相隣れる二つの測定値の差の絶対値）
Rm ：測定誤差に関する範囲
$\bar{Rm}$ ：$\Sigma Rm/K=$（Rmの和）/（組の数）
C.L. ：管理中心線
U.C.L. ：上方管理限界線
L.C.L. ：下方管理限界線

（A4版）

度　数　表

工事名	工事	設計基準値		出張所・監督官	
名称		日標準作業量		期間 自	平成　年　月　日
品質特性		規格限界 上限値		至	平成　年　月　日
測定単位		下限値		請負者	
測定方法		試料 大きさ		現場代理人	㊞
作業機械名		間隔		測定者名	㊞

度　数　図

（度数）

（測定値）

〔注〕度数図及び組み分け別度数は，各試験値（$x - Rs - Rm$ 管理では，x）を対象として記入するものとする。

「ゆとり」の検討表

管理限界の対象番号	規格 下限値 S_L	規格 上限値 S_u	規格を割る確率 P	h	α $\frac{\lvert\bar{x}-S_u\rvert}{\sqrt{V}}$	α $\frac{\lvert\bar{x}-S_L\rvert}{\sqrt{V}}$	α $\frac{\lvert\bar{x}-S\rvert}{\sqrt{V}}$	ゆとりの適不適	規格に対する合否	変動係数

○ゆとり（α）の計算

(1) 両側規格の場合……$\frac{\lvert\bar{x}-S_u\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha_1 \geqq 3$　　$\frac{\lvert\bar{x}-S_L\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha_2 \geqq 3$

上記の両式が成立すればゆとりがある。（できれば $\alpha \geqq 4$ が望ましい）

(2) 片側規格の場合……$\frac{\lvert\bar{x}-S\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha \geqq 3$（できれば 4 が望ましい）

S は上限値の場合は S_u，下限値の場合は S_L を使用する。

(3) 規格を割る確率（P％）が示されている場合

(a) 両側規格のとき……$\frac{\lvert\bar{x}-S_u\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha_1 \geqq h$　　$\frac{\lvert\bar{x}-S_L\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha_2 \geqq h$

(b) 片側規格のとき……$\frac{\lvert\bar{x}-S\rvert}{\sqrt{V}} = \alpha \geqq h$　S は上限値の場合は S_u，下限値の場合は S_L

組み分け別度数表　　$a=$　　（$\bar{x}$ または適当な数）

組み分け	x	マーク	度数 f	$(x-a)$	$(x-a)f$	$(x-a)^2$	$(x-a)^2 f$
Σ							

$S = \Sigma(x-a)^2 f - \{\Sigma(x-a)f\}^2/\Sigma f =$　　$\sqrt{V} = \sqrt{\frac{S}{\Sigma f - 1}} =$

○組み分けの幅……$h \fallingdotseq \frac{R'}{N}$　　R'：レンジ……試験値（$x - Rs - Rm$ 管理では x をいう。）の最大値と最小値の差

N：組み分け数…R' の1/10～1/5とする。

○平均値……$\bar{x}$……$x - Rs - Rm$ 管理においては，管理限界線の計算をしたときの $\bar{x}$ とする。

○不偏分散の平方根……$\sqrt{V} = \sqrt{\frac{S}{\Sigma f - 1}}$

○残差平方和……$S = \Sigma(x-a)^2 f - \{\Sigma(x-a)f\}^2/\Sigma f$

許容限界係数 h（片側危険率 5％）

○$P-h$ 値

P / n	3	5	10	15	20	25	30	40	50	60	100	∞
1/4	4.42	2.00	1.43	1.25	1.15	1.09	1.05	0.99	0.95	0.93	0.85	0.67
1/5	5.25	2.43	1.67	1.46	1.36	1.29	1.24	1.18	1.14	1.11	1.03	0.84
1/10	7.53	3.37	2.32	2.04	1.91	1.82	1.77	1.69	1.64	1.60	1.50	1.28
1/20	9.46	4.17	2.87	2.54	2.38	2.28	2.21	2.12	2.06	2.02	1.90	1.64
1/30	10.60	4.62	3.16	2.80	2.62	2.51	2.44	2.34	2.27	2.23	2.14	1.83
1/50	11.67	5.10	3.56	3.11	2.91	2.79	2.71	2.60	2.53	2.48	2.34	2.05
1/100	13.16	5.73	3.93	3.49	3.27	3.14	3.05	2.93	2.85	2.80	2.65	2.33

○変動係数……$C_v = \frac{\sqrt{S/n}}{\bar{x}} \times 100\% =$

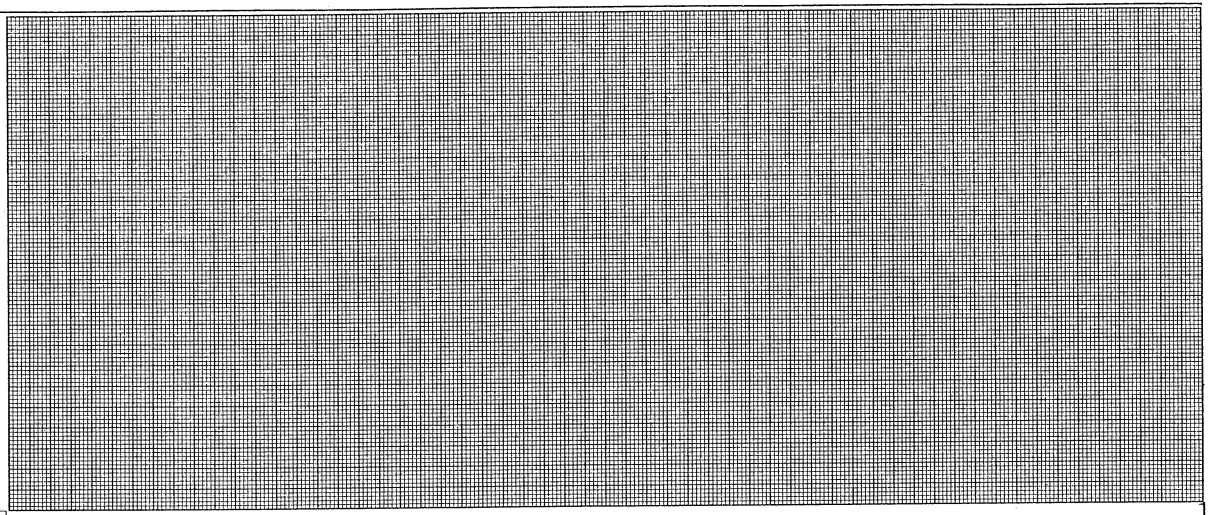
（注）管理限界線の引き直しごとに管理限界の計算に使用した試験値を用い度数表を作成し，「ゆとり」の検討を行なうものとする。

（A4版）

様式－東（9）

工　程　能　力　図

設計基準値		工事名		工事	出張所・監督官		
名称		日標準量			期間	自	平成　年　月　日
品質特性		規格限界	上限値			至	平成　年　月　日
測定単位			下限値		請負者		
測定方法		試料	大きさ		現場代理人		㊞
作業機械名			間隔		測定者名		㊞



月日	
番号	
記事	

（注）1. 能力図は，仕様書による規格限界線を朱書で記入する．
2. 記事欄には，異常原因，その他必要事項を記入する．

（A4版）

様式－東（10）

平成　　年度

工事アルバム　/　冊

（No.　　～No.　　）

中間技術検査

月　日	回	検査官名㊞	記　事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名　㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					

既済部分検査

月　日	回	検査官名㊞	記　事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名　㊞
	第　回					
	第　回					
	第　回					
	第　回					

完成検査

月　日	検査官名㊞	記　事	主任監督員名㊞	監督員名㊞	現場代理人名　㊞

事務所名＿＿＿＿＿＿　出張所名＿＿＿＿＿＿　請負者＿＿＿＿＿＿

監督官＿＿＿＿＿＿

注　1．標題には施工年度，工事名を記入し，1／3冊，2／3冊，……と番号をつけ，当冊に収められている測点No.を下の（　）内に記入する。
2．記事欄には当冊に収められている写真の工種等を略記する。
3．本様式は，アルバムの表紙，あるいは内表紙に設けるものとする。

（A4版）

様式－東（11）

除雪機械に関する指示票

平成　　年　　月　　日

工　事　名	

指示事項			
		主任監督員	㊞
		監　督　員	㊞

上記事項について指示します。

上記指示事項について了解しました。 平成　　年　　月　　日	現場代理人	㊞
	主任技術者	㊞

（A4版）

様式－東（12）

除雪機械の修理整備等に関する協議書

平成　　年　　月　　日

工事名					
協議事項	機械名		機械番号		
	故障発生日時	平成　　年　　月　　日　午前・午後　　時　　分頃			
	故障発生場所	地内			
	アワーメータの読み	故障発生時	h	貸付開始時	h
	上記の修理・整備は　甲が／乙が／別途　行う。　費用は　甲が負担／乙が負担／別途協議　する。 修理工場は、「　　」　とする。				
摘要					

上記事項について協議します。	主任監督員	㊞	現場代理人	㊞
平成　　年　　月　　日	監督員	㊞	主任技術者	㊞

（A4版）

様式－東（13）

除雪機械の修理整備等に関する報告書

平成　年　月　日

工　事　名	

報告事項		
	現場代理人	㊞
	主任技術者	㊞

上記事項について報告します。

上記事項について確認しました。 平成　年　月　日	主任監督員	㊞
	監　督　員	㊞

（A4版）

連　絡　先　一　覧　表

出張所：　　工区：　　工事名；

1. 発注者側連絡先（出張所）

出　張　所　名		電　　話：	ＦＡＸ：
出 張 所 住 所			
主任監督員（土木）		自宅電話：	留守宅電話：
監　督　員（土木）		自宅電話：	留守宅電話：
監　督　員（機械）		自宅電話：	留守宅電話：

2. 発注者側連絡先（事務所機械関係）

事　務　所　名		電　　話：	ＦＡＸ：
事 務 所 住 所			
主任監督員（機械）		自宅電話：	留守宅電話：
監　督　員（機械）		自宅電話：	留守宅電話：
監　督　員（機械）		自宅電話：	留守宅電話：

3. 請負者側連絡先

会　　社　　名		電　　話：	ＦＡＸ：
会 社 住 所			
現 場 代 理 人		自宅電話：	留守宅電話：
主 任 技 術 者		自宅電話：	留守宅電話：
機械関係担当者等		自宅電話：	留守宅電話：

（Ａ4版）

様式－東（14）－２

連　絡　先　一　覧　表

出張所：　　工区：　　工事名：

１．国土交通省側修理契約会社

請負者		電話：		FAX：	
請負者住所					
整備担当者氏名		自宅電話：		留守宅電話：	
対象機械名	規格	機械番号	対象機械名	規格	機械番号

２．請負者側修理契約会社等

請負者		電話：		FAX：	
請負者住所					
整備担当者氏名		自宅電話：		留守宅電話：	
対象機械名	規格	機械番号	対象機械名	規格	機械番号

（A4版）

様式－東（15）

コンクリートの単位水量試験結果一覧表

工事名

現場代理人
測　定　者

番号	測定年月日	工　区	コンクリートの打設数量 (m^3)	コンクリートの種類	コンクリートの製造者	測定器名	配合単位水量 (kg/m^3)	単位水量 (kg/m^3)																		備考
								1回目		2回目		3回目		4回目		5回目		6回目		7回目						
								実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差					

単位水量の管理値＝配合設計単位水量±15kg/m^3

(A4版)

様式－東（16）

モルタル及びコンクリート圧縮強度試験（JIS A 1108）

工事名

用　途

現場代理人

測　定　者

供試体番号 No.	製作年月日	試験年月日	材　齢（旧）	供試体重量（kg）	破壊荷重（kN）	圧縮強度（N/mm²）	実測スランプ（cm）	実測空気量（%）	摘　要

呼び強度		設計スランプ		細骨材率（s/a）		備　考
配合強度		設計空気量		単位セメント量（C）		
粗骨材最大寸法		水セメント比（W/C）				

（A4版）

様式－東（17）－1

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況

工　事　名		請負者名	
項　　目	評 価 内 容	備　　考	
□高度技術 工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力	□施工規模		
	□構造物固有	複雑な形状の構造物 既設構造物の補強、特殊な撤去工事	
	□技術固有	特殊な工種及び工法 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用	
	□自然・地盤条件	湧水、地下水の影響 軟弱地盤、支持地盤の状況 制約の厳しい工事用道路・作業スペース等 気象現象の影響 地滑り、急流河川、潮流等、動植物等	
	□周辺環境等、社会条件	埋設物等の地中内の作業障害物 鉄道・供用中の道路・建築物等の近接施工 騒音・振動・水質汚濁等環境対策 作業スペース制約・現道上の交通規制 廃棄物処理	
	□現場での対応	災害等での臨機の処置 施工状況（条件）の変化への対応	
	□その他		
□創意工夫 「高度技術」で評価するほどでない軽微な工夫	□準備・後片付け		
	□施工関係	施工に伴う機械、器具、工具、装置類 二次製品、代替製品の利用 施工方法の工夫 施工環境の改善 仮設計画の工夫 施工管理、品質管理の工夫	
	□品質関係		
	□安全衛生関係	安全施設・仮設備の配慮 安全教育・講習会・パトロールの工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫	
	□施工管理関係		
	□その他		
□社会性等 地域社会や住民に対する貢献	□地域への貢献等	地域の自然環境保全、動植物の保護 現場環境の地域への調和 地域住民とのコミュニケーション ボランティアの実施	

1．該当する項目の□にレマークを記入。
2．具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。

様式－東（17）－２

高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況（説明資料）

工事名			／
項　　目		評価内容	
提案内容			
（説　明）			
（添付図）			

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする。

様式－東（18）－１

提出日：平成　　年　　月　　日

ＶＥ提案書

支出又は分任支出負担行為担当官（官職氏名）　殿

請負者
住所
氏名　　印

契約書第19条の２に基づきＶＥ提案書を提出いたします。

工事件名： 契約締結日：	連絡者 氏　名 ＴＥＬ ＦＡＸ

ＶＥ提案の概要

注）記入欄が不足する場合には、様式－１の２として追記して下さい。なお、概算低減額は、提案を審査する上で参考とするものです。

番　号	項　目　内　容	概算低減額：千円
概　算　低　減　額　合　計		

（A4版）

様式－東（18）－２

番　号		項 目 内 容	

（１）設計図書の定める内容と、ＶＥ提案の内容の対比

【現状】……略図等	【改善案】……略図等

（２）提案理由

（３）ＶＥ提案の実施方法（材料仕様、施工要領等を記入）

（４）品質保証の証明（品質保証書の添付等）

（５）その他

（A4版）

番　号		項目内容	

ＶＥ提案による概算低減額及び算出根拠

【現　状】					単位：千円	【改善案】					単位：千円	摘　要
名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	

（A4版）

様式－東（18）－４

番　号		項 目 内 容	

（１）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（２）ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項（提案内容の公表に係る所見等）

（A4版）

様式－東（18）－５

（文　書　番　号）　号
平成　　年　　月　　日

ＶＥ提案採否通知書

○○　○○　殿

支出又は分任支出負担行為担当官
（官職氏名）　　印

特記仕様書「２．ＶＥ提案について」に基づき、平成　　年　　月　　日付けで提出されましたＶＥ提案に対する審査結果を以下のとおり通知します。

工事件名： 契約締結日：	ＶＥ提案項目数： 採 用 項 目 数： 不採用項目数：

ＶＥ提案に対する「採否」及びその理由

番　号	項　目　内　容	採否の区分	採否の理由	特記事項

（注）採否に関する問い合わせ先：○○課　○○係（電話 ***-***-****）

総　括　表　（1）

構造物の名称：

年　度	工　事　名	施 工 地 先	施 工 位 置	事務所名	摘　　要

（注）　・施工位置は、改装の工事現場等でキロ標が未設定の場合は工事の際に使用した測点№を記入。
　　・年度：国債工事の場合は○○年度～○○年度として記入。
（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領(案)」による。

（A4版）

様式－101（東北地方整備局版）

総　括　表　（2）

年　　度
工 事 名
施工地先

構造物の名称	管理名称 ※1	施工位置(測点)	距離標 ※2	北緯	東経	構造物の種類	構造部の部位	番号	摘　　要

（注）・構造物の名称は、工事の際の仮称でもよい。
・管理名称は、工事完了後の正式な管理名称を記入する。（※１．管理移管後の管理名称を記入する）
・施工位置は、道路の場合でキロ標が未設定の場合は路線の測点№を記入。（※２．距離標は、管理移管後の正式な距離標を記入する。）
・河川の場合などで、距離標が既知である場合には、距離標に記入する。
・座標値は、位置データとして必要なものである。重要構造物は必ず記入する。
・構造物の種類は、「建設材料の品質記録保存業務実施要領(案)」に示す対象構造物名を記入する。
・構造物の部位は、構造物の種類より詳細な(フーチング、柱部など)部位を記入する。構造物の種類より詳細な指定ができない場合は、同左でよい。
・番号は図面対象番号を記入。
（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領(案)」による。　　（A4版）

生コンクリート品質記録表

年　度
工事名
施工業者

(1)配　　合

番号	構造物の名称	構造物の種類	構造物の部位	ﾚﾃﾞｨｰﾐｷｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ区分	強度 呼び強度 (N/mm²)	強度 設計基準強度 (N/mm²)	粗骨材最大寸法 (mm)	ｽﾗﾝﾌﾟの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 w/c (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m³) 水 W	セメント 種類	セメント C	細骨材① S1	細骨材② S2	細骨材③ S3	粗骨材① G1	粗骨材② G2	粗骨材③ G3	混和材料 混和材 種類	混和材 使用量 kg/m³	混和剤① 種類	混和剤① 添加量 kg/m³	混和剤① 添加方法	混和剤② 種類	混和剤② 添加量 kg/m³	混和剤② 添加方法	混和剤③ 種類	混和剤③ 添加量 kg/m³	混和剤③ 添加方法	アルカリ骨材反応抑制対策の方法	ｺﾝｸﾘｰﾄ中の総ｱﾙｶﾘ量 (kg/m³)	生ｺﾝｸﾘｰﾄ会社名	JIS工場指定の有無	認 工場有無	摘要

（注）・番号は図面対象番号である。
・構造物の部位は、構造物の種類より詳細な（フーチング、柱部など）部位を記入する。構造物の種類より詳細な指定ができない場合は、構造物の種類でよい。
・レディーミクストコンクリート区分は、レディーミクストコンクリート標準仕様基準に示す区分番号を記入する。
・セメントの種類には、セメント名（N、H、ＢＢ等 JIS A5308のセメントの種類による区分上の記号）を記入。
・混和材には、配合容積に算入する（高炉スラグ微粉末、フライアッシュなど）混和材料の種類、使用量を記入する。
・混和剤には、配合容積に算入しない（ＡＥ剤、ＡＥ減水剤など）混和材料の種類、添加量、添加方法を記入する。
・アルカリ骨材反応抑制対策を実施している場合には、その対策方法を記入する。
・アルカリ骨材反応抑制（土木構造物）実施要領に基づく、アルカリ総量の計算結果を記入する。
（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

コンクリート二次製品の品質記録表

年　度
工事名
施工業者

(1)配　　合

番号	構造物の名称	構造物の種類	構造物の部位	製品名	設計基準強度 (N/mm²)	粗骨材最大寸法 (mm)	ｽﾗﾝﾌﾟの範囲 (cm)	空気量の範囲 (%)	水セメント比 w/c (%)	細骨材率 s/a (%)	単位量 (kg/m3)																				アルカリ骨材反応抑制対策の方法	ｺﾝｸﾘｰﾄ中の総ｱﾙｶﾘ量 (kg/m³)	製造会社工場名	JIS工場指定の有無	摘要
											水	セメント		細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和材料														
																				混和材		混和剤①			混和剤②			混和剤③							
											W	種類	C	S1	S2	S3	G1	G2	G3	種類	使用量 kg/m³	種類	添加量 kg/m³	添加方法	種類	添加量 kg/m³	添加方法	種類	添加量 kg/m³	添加方法					

（注）・番号は製品毎に図面に表示し、それを記入。
・構造物の部位は、構造物の種類より詳細な部位を記入する。構造物の種類より詳細な指定ができない場合は、構造物の種類でよい。
・製品名は使用したコンクリート製品名を記入。
・設計基準強度は、JISで規定がある場合は規定強度、ない場合はコンクリート製造工場が定めている強度を記入。
・セメントの種類には、セメント名（N、H、ＢＢ等 JIS A5308のセメントの種類による区分上の記号）を記入。
・エコセメント（JIS R5214）を使用した場合には、普通エコセメント・速硬エコセメントの種類を記入。
・混和材には、配合容積に算入する（高炉スラグ微粉末、フライアッシュなど）混和材料の種類、使用量、添加方法を記入する。
・混和剤には、配合容積に算入しない（ＡＥ剤、ＡＥ減水剤など）混和材料の種類、添加量、添加方法を記入する。
・配合については、コンクリート製造工場が定めている配合を記入する。
・アルカリ骨材反応抑制対策を実施している場合には、その対策方法を記入する。
・アルカリ骨材反応抑制（土木構造物）実施要領に基づく、アルカリ総量の計算結果を記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（２）材料特性

年　度
工事名
施工業者

①セメント

番　号						
項目＼種類						
種　類						
密 度(g/cm^3)						
比表面積cm^2/g						
凝結	始発 h-m					
	終結 h-m					
安 定 性						
圧縮強さ (N/mm^2)	1 day					
	3 day					
	7 day					
	28day					
	91day					
水和熱 (J/g)	7 day					
	28day					
酸化ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ (%)						
三酸化硫黄 (%)						
強熱減量 (%)						
けい酸三ｶﾙｼｳﾑ(%)						
けい酸三ｶﾙｼｳﾑ(%)						
ｱﾙﾐﾝ酸三ｶﾙｼｳﾑ(%)						
全アルカリ (%)						
塩化物イオン (%)						
混合材の分量 (%)						
セメント製造会社						
生コン工場						
製造年月						
摘　要						

（注）・番号は図面対象番号である。
・セメントの種類は、普通、早強、高炉A、B等と記入しそれぞれJISに規定された品質項目について記入。
・エコセメント(JIS R5214)を使用した場合には、普通エコセメント・速硬エコセメントの種類を記入する。
・各項目については、セメント会社が生コンクリート製造会社に提出した試験成績表を参考に記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領(案)」による。

(A4版)

（２）材料特性

年　度
工事名
施工業者

②骨材（スラグ骨材をのぞく）

番号	材料名		粒の大きさの範囲	絶乾密度 (g/cm³)	表乾密度 (g/cm³)	吸水率 (%)	粘土塊量 (%)	安定性試験 (%)	微粒分量 (%)	有機不純物 (%)	すりへり減量 (%)	原石名	塩化物量 (%)	単位容積質量 (kg/m³)	実績率又は粗粒率	混合割合 (%)	アルカリシリカ反応性試験			産地	販売会社	摘要
	細粗の別	種類															試験方法	試験結果	判定			

（注）・番号は図面対象番号を記入。
・材料名は細・粗骨材番号を区分し、海砂、川砂、山砂、砕砂、砂利、砕石等と記入。
・細骨材は粗粒率、粗骨材は実績率を記入。
・産地は○○市○○町○○地先と記入する。
・販売会社は採取業者とする。
・アルカリシリカ反応性試験は、アルカリ骨材反応抑制（土木構造物）実施要領に基づく、試験方法、試験結果、判定を記入する。
・化学法の場合、試験結果の平均値を記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（２）材料特性

②骨材（スラグ骨材）

年　度
工事名
施工業者

								摘　要
番　号								
種　類								
ＪＩＳ								
粒の大きさの範囲								
化学成分	酸化ｶﾙｼｳﾑ	CaO(%)						
	酸化ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ	MgO(%)						
	全硫黄	S(%)						
	三酸化硫黄	SO_3(%)						
	全鉄	FeO(%)						
	金属鉄	Fe(%)						
	二酸化けい素	SiO_2(%)						
	酸化ｱﾙﾐﾆｳﾑ	Al_2O_3(%)						
絶乾密度		(g/cm^3)						
吸水率		(%)						
安全性		(%)						
実績率		(%)						
単位容積質量		(kg/l)						
塩化物質		NaCl(%)						
微粒粉量		(%)						
水中浸せき								
紫外線(360.0nm)照射								
高気温時貯蔵の安定性判定								
アルカリシリカ反応性試験		試験方法						
		試験結果						
		判　定						
製造会社名								
製造年月								

（注）・番号は図面対象番号を記入。
・各項目については、試験成績表を参考に記入する。
・製造年月は品質検査、試験成績表に記載してある年月。
・アルカリシリカ反応性試験は、アルカリ骨材反応抑制（土木構造物）実施要領に基づく、試験方法、試験結果、判定を記入する。
・溶融スラグ細骨材は、「ゼロエミッション会社を目指す技術」に係るガイドライン（案）に準拠のこと。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（２）材料特性

年　度
工事名
施工業者

③混和材料（混和剤）

番号						
種類						
品名						
種類						
減水率（%）						
ブリージング量の比（%）						
凝結時間の差（min）	始発					
	終結					
圧縮強度比（%）	3day					
	7day					
	28day					
長さ変化比（%）						
凍結融解に対する抵抗性（相対動弾性係数%）						
塩化物イオン量（kg/m^3）						
経時変化量	スランプ（cm）					
	空気量（%）					
全アルカリ量（kg/m^3）						
製造会社名						
製造年月						
摘要						

（注）・番号は図面対象番号を記入。
・混和剤の種類は、標準形、遅延形、促進形等を記入。
・各項目については、混和材料メーカーが生コンクリート会社に提供した試験成績表を参考に記入する。
・製造年月は品質検査、試験成績表に記載してある年月。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（２）材料特性

年　　度
工 事 名
施工業者

③混和材料(混和材)

番　　号						
種　　類						
Ｊ　Ｉ　Ｓ						
品　　名						
密　　度　(g/cm^3)						
比 表 面 積 (cm^2/g)						
45μmふるい残分　(%)						
フ ロ ー 値 比(%)						
活性度指数 (%)	7 day					
	28day					
	91day					
酸化マグネシウム(%)						
三 酸 化 硫 黄(%)						
二 酸 化 ケ イ 素(%)						
塩 化 物 イ オ ン(%)						
強 熱 減 量(%)						
湿　　分(%)						
製 造 会 社 名						
製 造 年 月						
摘　　要						

（注）・番号は図面対象番号を記入。
・各項目については、試験成績表を参考に記入する。
・製造年月は品質検査、試験成績表に記載してある年月。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領(案)」による。

（A4版）

（3）コンクリートの品質試験結果

年　度
工事名
施工業者

番号	構造物の名称	構造物の種類	構造物の部位	打設日	呼び強度 (N/mm²)	設計基準強度 (N/mm²)	配合強度 (N/mm²)	σ (x) (N/mm²)					σ28強度 (N/mm²)				スランプ (cm)			空気量 (%)			コンクリート中の塩化物総量 (kg/m3)	現場単位水量		摘要
								材齢	最大	最小	平均	試験個数	最大	最小	平均	試験個数	最大	最小	試験個数	最大	最小	試験個数		測定方法	単位水量 kg	

（注）・構造物の部位は、フーチング、柱部等、具体的でかつ複数回の打設にわたる場合は、その回を記入する。
・呼び強度は、JIS A5308（当該年度のもの）適用。
・配合強度は、変動係数等を考慮して各生コンクリート工場で定めている強度。
・σ (x) 内の強度欄は、σ28以外の場合に使用する。“x”に呼び強度を保証する材齢を記入し、数値を入力する。
・コンクリート舗装の場合は、曲げ強度をσ28の欄に記入する。
・試験個数が10個以上になる場合には、別途工程能力表を作成する。
・σ28強度は、呼び強度毎の試験結果とする。
・スランプは、呼び強度毎の試験結果とする。
・空気量は、呼び強度毎の試験結果とする。
・特殊混和剤を用いた場合は添加後のスランプ、空気量を（　　）書きで上段に記入。
・コンクリート中の塩化物総量規制基準（土木構造物）実施要領に基づき測定された、塩化物量の測定結果を記入する。
・現場において測定したコンクリート中の単位水量について測定方法及び値を記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（３）コンクリートの二次製品の品質

年　度
工事名
施工業者

番号	構造物の名称	構造物の種類	構造物の部位	製品名	配合強度 (N/mm²)	製品試験強度 (N/mm²)	スランプ(cm)			空気量(%)			ｺﾝｸﾘｰﾄ中の塩化物総量 (kg/m³)	締め固め方法	養生方法	養生温度（最高） (℃)	養生時間（保持時間） (時間)	形状寸法	JIS製品の有無	製造年月	製造会社工場名	摘要
							最大	最小	試験個数	最大	最小	試験個数										

（注）・番号は製品毎に図面に表示し、それを記入。
・構造物の部位が構造物の種類より詳細な指定ができない場合は、構造物の種類でよい。
・製品試験強度はJISで規定されている試験方法で実施した結果を記入。
・コンクリート中の塩化物総量規制基準（土木構造物）実施要領に基づき測定された、塩化物量の測定結果を記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（４）打設関係

年　度
工事名
施工地先

番号	構造物の名称	構造物の種類	構造物の部位	打設日(AM.PM)	ポンプ圧送高さ(m)	ポンプ圧送距離(m)	ポンプ使用管径(φmm)	打設数量	打設気温(最高)	打設気温(最低)	養生気温(最高)	養生気温(最低)	打設方法	養成方法	養生日数(日)	特殊型枠	打設会社名	摘要

（注）・番号欄は、図面対象番号を記入。
・打設温度は、打設時に測定した外気温を記入する。
・打設会社名は、ポンプ打設の場合のみ記入。
・打設方法は、シュート、バケット、ポンプ打設等を記入。
・養成方法は、湿潤、練炭、電熱養成等を記入。
・保温養生を行った場合は、保温期間の養生気温を記入する。
・養生日数は、脱型までの日数を記入する。
・特殊型枠（スリップフォーム、埋設型枠、給水型枠等）を使用した場合は、その種類を記入する。

（出典）「建設材料の品質記録保存業務実施要領（案）」による。

（A4版）

（参考）様式

支　給　品　調　書

工事名	

品　　名	規　　格	単位	数　量	支給及び返納場所	摘　　要

（参考）様式

貸　与　品　調　書

工事名	

品　　名	規　　格	単位	数　量	貸与及び返納場所	摘　　要

（参考）様式

施　工　確　認　書

工事名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

確認者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

路側防護柵工（土中埋込み式）の施工について、社内検査の結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質、出来形を確保していることを確認しました。

また、防護柵の所要の埋込み長が確保されていることが確認できる状況（建て込み時の施工状況、若しくは埋込み長の測定状況等）をビデオカメラにより全本数分を撮影した資料（ビデオテープ等）を提出致します。

平成　　年　　月　　日

請負者　住所

氏名

（※施工確認者については、「品質証明員」が行うものとする。但し、品質証明制度を適用していない工事について「主任（監理）技術者」が行うものとする。）